



《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 自治公民館施設整備事業	公民館の新築・改修・修繕を行う行政区に対し、補助金交付を行う。	補助金交付単年度件数	件	7	15	11	7
②		補助金交付累計件数	件	46	61	72	79
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 自治公民館整備率	H17年度以降の補助金累計交付件数/全自治公民館数(258)×100	%	17.0	23.0	26.0	30.0
			17.8	23.6	27.9	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	自治公民館が老朽化している行政区、瓦の葺き替え、洋式トイレへの改修等市民の要望は増加している。市の補助が事業費の3分の1であるため市民の方は大変感謝され、地域活動の推進に役立っている。このため、廃止等による影響は大変大きいと思われる。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	学習活動や趣味、健康づくりに生きがいを見出そうとする人が増えているため、地域の生涯学習の拠点として自治公民館の整備が必要である。また、自治公民館の老朽化や高齢化に対応したトイレの改修、公共下水道接続等に伴う公民館の改修等、この事業の重要性は増しているため補助金交付事業は現状のまま継続させていく必要がある。
昨年からの見直し・改善状況【32】	増築及び改築について補助上限を100万円とする補助金交付要綱を一部改正するとともに、高齢介護課の介護予防拠点施設整備補助金との併用により整備率を向上させることができた。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	自治公民館の整備は、地域づくりや人づくりに大きな効果が見込まれる。宝くじ助成金や介護予防拠点施設整備補助金等の補助金と併用することにより、自治公民館施設整備の充実を図っていく。	評価責任者 坂本 政輝
------------------	--	----------------